

第47回 エフエム伊東 番組審議委員会

議事録

会議場所

伊東ふれあいセンター3階会議室

日時

平成28年11月

出席者

番組審議委員： (出席) 河野真一 佐野文彦 鈴木孝彦 水口 進 森田文明
鈴木順子 奥平京子
(欠席) 上山育子

【議題】 9月からの新体制に寄る現状、平成29年に向けての取り組みについて

(現状・報告)

- 大室山山頂トイレ改修・新設に伴い、敷地内当局送信所の移転を余儀なくされていた。その際の送信所停止を総務省へ申請しておらず、このままでは法律違反で閉局せざるを得ない状況であった。各方面の方々のご尽力により、申請を受け付けていただき、現在も放送を続けることができている。
- 災害に備え、エフエムの役割を今まで以上に高めるべく、主要スタッフの勉強会を送信所にて開催。緊急時の確認、送電操作法等を学び、防災・災害対策を強化した。報道規制がひかれた中に唯一入ることができるコミュニティFMは、ライフラインの一部であるとの認識を高め、防災情報発信、番組作りに力を入れていく。
- これまでJCBA日本コミュニティ放送協議会会議に参加せず、情報共有・連携を全く取ろうとしてなかった。総務注意勧告もあり、役員総辞職の大きな原因の一つでもあったこの問題を解決すべく、鈴鹿開催の会議に出席。市町村が整備するコミュニティ放送に係る地方財政措置・経常費用等、申請が市を通過し補助が受けられるとも補助が受けられるという新制度が施行されているとの情報をいただき、エフエム伊東もエントリーする方向でいく予定。
- スキルの高いスタッフも増え、番組レベルも上がってきている。ただ情報を流すだけでなく、皆でエフエム伊東をすべく営業・地域への認知度強化に努めている。

【審議委員の皆様からのご意見・ご要望】

- ・地元の渋滞・事故・規制等の交通情報は助かる。今後も細かく放送してほしい。
- ・使用地域を増やすかラジオの感度を良くする方法、良い機材等が知りたい。
- ・近隣FMをとの連携・情報提供等に力を入れ、伊豆全体を盛り上げてほしい。
- ・ネットは便利だが、正確な情報を判断しなければならない。すぐ横にある身近な情報に強いのはコミュニティFM
- ・知り合いが出演していると親しみが湧く。気取らず地域密着の放送内容を。
- ・子供達に参加してほしい。パーソナリティ・番組制作体験や発表等は可能か。

A: 12月に南中2年生の職場体験を実施。生放送でのアナウンス、レポーターとして市内でのインタビュー、CMを体験してもらう予定

次回の番組審議委員会は開催予定は弊社ホームページにて発表

